

会議の名称	議会改革特別委員会	開催月日・令和5年2月15日 開会時間・午前・午後 9時58分 閉会時間・午前・午後10時46分
出席者	野口 佳宏 糟谷 玲子 柴田 喜朗 安井 智子 花村 隆 星野 明	
欠席者		
オブザーバー	議長 南谷 佳寛 副議長 後藤 國弘	
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長、大下議会総務課課長補佐、中村同課主任	
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員会活動の活性化について</li> <li>○ 外部との連携について</li> <li>○ タブレット端末の実証利用の振り返りについて</li> <li>○ その他</li> </ul>	

【開会=午前9時58分】

野口委員長

ただいまから議会改革特別委員会を開会いたします。本日の協議事項は4項目となります。

はじめに、委員会活動の活性化について、前回に引き続き常任委員会2年の任期ですけれども、この活動のあり方について協議をしたいと思います。前回持ち帰っていただくことにしておりましたが、2年間の任期の活動内容について何かご意見ございましたらご発言願います。前回は登別市の例があったと思うんですけれども、任期2年となりますと、やはり登別市のように活動計画のようなものがしっかりとあった上で行政側に政策提案等々していくべきなんだろうと思うんですけれども。皆さんのご意見を伺いたいと思います。何かございますか。

安井委員

2年にするという事は、やはり1年1年で決めてやっていると、やはりどうしてもちょっと足りない部分があって、次に引き継ぎをお願いしますというような格好で1年を終えたというところがありますので、その点については2年続けて、その項目を2年くらいあれば何とかできるのかなというようなもので、引き継ぎでやるよりは自分たちが引き続きやった方がいいのかなというふうに思っておりますので、賛成する部分になります。

野口委員長

2年間でやっていく活動計画はもちろん作成してという、各委員会で計画立てて視察ですとか調査研究を進めていくという。

安井委員

ただ、1人だけの思いではできないので、やはりそこはみんなでこれをやっていこうというふうにまとまらないことには、やれないのかなという問題点もあるかなと思います。

野口委員長

ありがとうございます。事細かに活動内容が書いてあって、諸課題があって、こういった項目について調査研究をしていきますよと、それでどういった調査研究をしていくかというようなスケジュール、内容になっていて、他に何かご意見ございますか。

花村委員

そのそれぞれの常任委員会の委員のメンバーそれぞれの思いがあると思うんですけれども、こういった計画を立て

	<p>ることで、委員の思いを一つにしてというか、委員会としては2年かけてこんな方向でやっていこうという方向づけをきっちりつけるためにも、やはり計画書はあることが望ましいと思うし、途中で考えが変わって、こっちの方が大切じゃないかということになれば、また委員の中で検討して変更したり付け足したりとかということもできると思いますので、計画書を作ってやっていくということは、より望ましい形ではないかというふうに思います。</p>
野口委員長	<p>確かに追加される課題とか、問題点とか多々あると思うので、そこは各委員会で合意形成を図っていただいて、計画の変更といえますか、やっていけばいいと思いますので。</p>
糟谷委員	<p>やはりそれぞれの常任委員会で活動計画を、委員会全体で作るんじゃないかと、各常任委員会で作られた方がいいかなと思うし、それをちょっと今悩んでいるところなんですけど、全体で計画して、住民との意見交換会とかあるじゃないですか、でもこれから進んでいく中で、委員会ごとの住民との意見交換会を進めてもいいのかなというふうにも思っていて、全体じゃなくて、その方がそれぞれの委員会のやりたいことがよくできて、最終的に市に提言していくことができるんじゃないかなというふうに思うと、常任委員会ごとに計画を立てていった方がいいのかなと思います。でも、計画はやはり2年間というふうにしたときには、どこまでにどれを進めて、どういうふうにやっていくかというのは、やはり計画を作った方がいいと思います。</p>
野口委員長	<p>ありがとうございます。すみません、私は各常任委員会で計画を作ると思っていたんですけど、その考え方でいいですよ。全体じゃなくて、各常任委員会ごとに活動計画を作って、それにのっかって調査研究し、行政に政策提案をしていくというようなご意見をお持ちだろうと思いますけれども、そういったことでよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
野口委員長	<p>今後の流れなんですけど、委員会条例を改正していかなければならないんですけど、議会改革でこういう協議になりましたよという報告を議運でして、議運で協議し、条例を改正していくかというようなお話なんですけど。</p>

議会総務課課長 補佐	<p>現在、議会運営委員会で常任委員会の任期の件と、先日お話いただいた、オンライン委員会の関係の条例改正に向けた案の検討を進めてまいりますので、どちらも最終的な結論が得られれば3月定例会での発議をしていただけるようなところで現在協議が進んでおります。</p>
野口委員長	<p>では、活動計画書を各常任委員会で作成していくということと、3月定例会で改正をしていくという流れになりますのでよろしく願いいたします。何か常任委員会の2年任期に関して何かご意見ございますか。</p>
糟谷委員	<p>議会運営委員会は1年、常任委員会は2年、委員長、副委員長は常任委員会は2年で議会運営委員会は1年ということで、なかなか大変かなと、あれからいろいろ考えさせていただいたんですけど、他のところをちょっと見させていただけいたら、やはり議運が1年ずつ交代していくということで、常任委員会もそれに合わせて1年ずつの交代をされているところも、2年任期でも委員長、副委員長は1年ごとに改選をしていくけど、そのままその委員会でこの人でいいということなら同じ人がやってもいいという形でやっておみえになったりもするので、それはどうしたらいいのかなというのが、議運だけが1年というのも、それはそれでやれないことはないと思いますが、皆さんどう思われますか。</p>
野口委員長	<p>どうでしょう。常任委員会は2年だけれども、議会運営委員会は1年、今の考え方でいくと、議運は1年、常任委員会だけ2年という話です。</p>
花村委員	<p>任期が2年になれば、普通に考えれば委員長、副委員長も2年で行くのが常識的というか、そういうふうになると思うんですけど、ただ、議運の関係とか、議長の関係とかもあるので、ちょっとここだけで判断するのは難しいかなと、希望としては2年ということですけど、その時々議長の思いとか、あまり気遣う必要もないかもしれないけど、本来あるべき姿は2年ではないかということは思います。</p>
柴田委員	<p>さっき糟谷委員がおっしゃったような感じで、任期は2年なんだけど、1年ごとで一応交代、ただし再任は別にOKですよという形がいいなと思ったのと、やはりその時代時代で、1年ごとでいろんなことが変わっていくので、単</p>

	<p>年ごとに登別市みたいな計画書を作って、任期は2年だけど、単年ごとに計画については練った方がいいのかなと思います。以上です。</p>
野口委員長	<p>委員会条例は1年を2年にするだけでいいですか。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>委員会条例では正副委員長の任期については、委員の任期によるということで規定がありますので、そこをそのままにすると、委員の任期が2年になった時点で正副委員長もそこに引っ張られて常任委員会も2年になるというような形になります。</p>
野口委員長	<p>今の話からいくと、任期2年だと正副委員長も2年だと。別に条文は、私達議員で変えられるんだから、任期2年にして、正副委員長は1年交代ですよということも別にできないことはないでしょう。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>そこは変える形で、対応はできると思います。</p>
糟谷委員	<p>例えば議長選が1年ごとにありますよね、もし委員長が議長になったら委員長は代わりの人になるんですよ。</p>
野口委員長	<p>代えいないといけませんね。</p>
糟谷委員	<p>そうすると1年ごとの委員長、副委員長にした方がやりやすい、議長、副議長が2年任期、議運も2年任期ならいいけど。</p>
野口委員長	<p>そうですね、常任委員会の委員長が議長になる可能性は全然あるから、そう言われてみるとそうだな。委員長の任期どうしましょう。</p>
花村委員	<p>2年として、1年で交代するときは代えられるという条文にするか、最初から1年交代、今まで通りで行くかどうかということですよ。私の意見としては2年でということにしておいた方が、委員が2年任期なら委員長も2年と、それで1年で交代も可能な状況であれば、議長になった人とかという関係で代えることもできるという状況を作っておけばいいんじゃないかなというふうに思います。</p>

野口委員長	<p>基本的には正副委員委員長の任期は2年だけど、万が一議長になったりとかというときには代えられるという、基本的には2年、なるほど。</p>
議会事務局長	<p>基本的に今の委員会条例の中に正副委員長の辞任という項目がありまして、委員会で承認されれば、その時点で辞任になるという形は今の正副議長の選挙でも法律上4年という任期になっている中で、辞表を出した関係上新たな議長を選出するというかたちで進んでいますので、今の条例の中で特に任期を2年にするというだけで、それ以外に変える必要はないのかなというふうには考えております。</p>
野口委員長	<p>今までの案のままでいきたいと思います。  では次、外部との連携について協議をしたいと思います。お手元には全国市議会議長会が令和3年中の状況として大学等との連携について調査した結果と意見交換会などの取り組みから連携に発展した例の一つとして参考にお配りをさせていただきました。こちら前回から引き続きとなりますが、こちらもち帰ってお調べいただくようにというようなお話だったんですが、何かご意見ございましたらお願いをいたします。資料が配られておりまして、ご覧いただきたいと思いますが、全国市議会議長会の資料を見ると、意外に少ないという、もうちょっと何か連携してそんな感じだったんですけど、意外や意外。羽島市人口で見ると、5から10万人未満なんですけど、パーセントにすると5.3で、数字は低いですが、連携した方がいいんじゃないかなと思っております。</p>
糟谷委員	<p>大体大学と連携してみえるところというのは意外と地元で大学があって、その地元の大学と連携してみえるところが多いんですけど、羽島市の場合、市の中に大学があるわけではなく、できるとしたら岐阜大学が一番近いところなんですけど、そういうところに話をして、いいですよと言われればいいと思いますし、それか個人的な方をお願いしてやってもいいなと思うんですけど、それは議会改革の方で連携するところまで決めちゃっていいんですか。連携しましょうというところまではやって、具体的ところまでこちらで決めてもいいですか。</p>
野口委員長	<p>まず連携していくというのは多分皆さん、大体ご賛同いただいているんだろうと思うんですけど。</p>

議会総務課課長 補佐	<p>どことというところまでなかなか決めにくいかと思うんですが、例えばアプローチの仕方、前回の資料にも少し載せさせていただいた部分であるのが、図書館の司書に図書を紹介なりを受けるような、そういうところができるように、とりあえず構築したりですとか、今日お配りさせていただいた中でも、意見交換会を重ねる中で結果として連携に発展させる、あるいは学校側の研究活動等との結びつきも徐々につけていこうとかという、まず取りかかりをどういところで求めていきましょうかというアプローチの仕方というところで、こういうところで大学にアプローチしてみたらどうでしょうという、そういうイメージみたいなものがもしお考えの中でありましたら、そういうものを取りまとめて方向性として議会改革特別委員会としての方向づけとしていただければいいのではないかと思います。</p>
糟谷委員	<p>連携していく中で、予算的なことはどうなのかなということも少し考えるんですけど、議員の勉強に来ていただいて、そこからやっていくということなら、その費用は皆さんの政務活動費の中から集めるとか、それか、議長が向上のために出しますよと言っていたらそれを使えるのか、そういう費用のことも考えないといけないと思うんですけど。</p>
議会総務課長	<p>予算的なことにつきましては今後協議していただいて、発生する場合ですと要望なり要求なり、又は政務活動費から出していただくとかという方法を考えることになります。今回、外部との連携については、年度末ですので、中間報告ということで3月定例会最終日にさせていただくんですけども、その中で外部との連携について今後検討していくということを挙げていただいて、全議員さんにもご理解いただいて、来年度から実際に協議していただいて、予算のことは、もし来年度必要であれば、補正や政務活動費でという形になるんですけども、またその翌年ということであれば要望を出していただくとかという方法もあるかと思われまます。</p>
野口委員長	<p>技術的には政務活動費から出せるよね、例えばいきなり羽島市議会全体で講師呼んでというのもできる、議会改革が主催して講師呼んできて、羽島市議会というのはいくらできると思うので、お金次第だと思う。政務活動費が出せ</p>

議会総務課長	<p>るのなら、もちろん議員の皆さんの了解を取らないといけないことは当たり前のことですし、議長が俺が出すというならいらないけれど、技術的に政務活動費で1人当たりいくらかというのは可能なんですか。</p> <p>実際に政務活動費で講師の先生を呼んで研修をされたことがあるんですけども、土山先生ですけど、あのときは政務活動費でそれぞれ人数割りしていただいて会を開いております。</p>
野口委員長	<p>予算編成は行政がやるので、今年度要望あって1年間何もなしかと言われると、やはりここまで議論してきた、何やったんやという話にもなると思うので、皆さんどう思われているかわからないですけど、それも選択肢の一つとしてやっていった方が議会改革が進むんじゃないかという思いは正直あるんですけど、どうでしょう、お金の問題ですけど、講師を呼んで、取りかかりとして意見交換会とかというのは、別にやれるんでしょう。そのときは何が主催なのか。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>前回私の記憶で申しますと、確か意見交換会を初めて試行するという当時の議会改革特別委員会の協議の中で、どのようにワークショップをすればいいのかというところも含めて当時の土山教授を読んで、確か委員会室でいただいたというところで、その時は全員参加ということで、政務活動費で皆さんにご負担いただいたということで開催したことがあります。</p>
野口委員長	<p>どうでしょう皆さん、前例はあるということなんですけれども、ひとまず外部の大学なら大学でもいいんですけど、意見交換とか、それが発展していった連携、協力していく協定を結んでいくという方向性についてはご賛同いただけているのかなと思うんですけども。</p>
花村委員	<p>具体的なことについてはまた新年度以降、具体的に考えていけばいいので、我々の議会改革ではそういった方向性を示していけばいいんじゃないかと、また実際の予算とか、お金をどうするかということも、そのときのというか、来年以降の議員で考えていけばいいので、方向性としてそういう外部との連携を強めていきたいということを経験のまとめで委員長の方から言ってもらえばいいんじゃないかと思</p>



野口委員長	<p>います。</p> <p>わかりました、ありがとうございます。皆さんよろしいですか、花村委員言われたように方向性、連携強化をしていくということで。</p> <p>(異議なし)</p>
野口委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次、最後になります、タブレット端末の実証利用の振り返りについて協議したいと思います。お手元には振り返りシートに記載されたコメントを掲載し、市議会としての取りまとめ案としたものをお配りしております。委員会においてこれを取りまとめていきたいと思います。現時点でご意見などありましたら、ちょっと読んでいただいております。お気づきの点などあったら挙手でご発言をいただければと思います。確かに紙と併用だったので、紙に頼っちゃうところどころが正直あったかもしれませんね。私個人的にですけど、一番気にしているのがやはり、全員が一定のスキルや熟度を持って使用できるようにするため、日常的に実践できる方策として何が必要と考えますか。この項目④ですね、正直、今回お借りしているのが iPad ですが、ウインドウズですよ、なのでどうなのかなというのがあるんですが、でもウインドウズユーザーの方が高いかもしれませんね。</p>
糟谷委員	<p>ここにある総括表の通りだと思います。振り返りと言われて、書いてある通りで、コメントもちゃんとそれに対応してこういうふうにしていくようなことも書いてあるし、振り返りについてと言われても、これが全てですとしか言いようがないです。皆さんの方にこれも見ていただければいいんじゃないですか。</p>
議会総務課長	<p>コメントのところは議会改革特別委員会のコメントになりますので、そちらを見ていただきたい。</p>
野口委員長	<p>この通りでよろしいですか。確かに皆さん本当に詳しくご回答いただいたと思いますので、この通りで行きたいと思います。各議員に配布した方がいいですよ。そのままで行くということで全議員にお示しをし、実証結果として報告したいと思います。よろしいですか。</p>

野口委員長	<p>(異議なし)</p> <p>ではそのように進めさせていただきます。 最後になりますが、その他について何か協議事項ございましたら、議長何かありますか。</p>
野口委員長	<p>(発言なし)</p> <p>副議長よろしいですか。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>(発言なし)</p> <p>ひとつだけ補足といいますか、過去の協議の中で、タブレット端末に個人がアプリを入れることに関する議論をいただいたと思っております。当時はまだ、どういう管理の仕方をするかということもわかっていない状況でしたので、申し合わせ的には禁止事項としつつ、取り扱いはまた後ほどと言いますか、禁止事項としつつ状況に応じてという話で進んでいたかと思いますが、今回、他市の導入事例等も参考にしながら、外へ持ち出した場合の紛失等の対策、あるいはセキュリティの対策も含めまして、デバイス管理ソフトを導入しているところが見受けられましたので、私どももそういうデバイス管理ソフトを入れさせていただいた中で集中管理をかけることになりました。一番わかりやすいのが、紛失があったときにこちら側からロックをかけるという形で、情報の漏洩等がないように努めていきたいと思いますという部分、端的に言うともわかりやすいのはそういうところになりますが、そういうソフトを入れる関係で、実際に個人でアプリを入れるということに関しては、そういうことも含めて、一応禁止事項ということになりますという点だけ補足をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
野口委員長	<p>この件についてご質問ありますか。</p> <p>(発言なし)</p>
野口委員長	<p>3月定例会での中間報告に向けて、協議の成果や報告案などを取りまとめては考えております。3月2日の議案詳細説明終了後ということですのでよろしくお願いいたします。</p>

	<p>以上で本日の会議を終了します。ありがとうございました。</p>
--	------------------------------------

【閉会=午前 10 時 46 分】